

『多様な新ニーズに対応する「がん専門医療人材
(がんプロフェッショナル)」養成プラン』

全人的医療を行う高度がん専門医療人養成

徳島大学大学院栄養生命科学教育部 臨床腫瘍栄養学コース

竹谷 豊、阪上浩、濱田康弘

(徳島大学大学院医歯薬学研究部)



中国・四国全域に広がる拠点病院
 組織的・効率的ながん治療の均てん化の実行組織

■ :コンソーシアム参加がん診療連携拠点病院

本プログラムの特徴

- ・多職種の高도가ん専門医療人養成の教育プログラム
- ・中国・四国地方の大学院、がんセンター、がん拠点病院が参加
- ・高度なレベルで標準化された共通コアカリキュラム
- ・eラーニングによる域内統一カリキュラムによる教育（共育）
- ・大学、分野、職種をこえた専門職連携教育（協育）、
- ・国際的に活躍する人材の養成
- ・在宅高齢者がん医療に貢献する専門医療人の養成
- ・チーム医療・リサーチマインドを身につけたがん専門医療人
- ・中国・四国地域におけるがん治療の均てん化、標準化の実現と各大学、地域における臨床研究や橋渡し研究の活性化を目指す

コンソーシアム協議会

事務局コーディネーター

カリキュラム企画運営委員会

ゲノム医療	岡山・徳島
希少がん	愛媛・徳島
小児がん・AYA世代がん	岡山・川崎医科・高知
高齢者がん	香川・山口・岡山
がん看護専門看護師等のリカレント教育	高知県立・岡山

養成コース別アドバイザーボード

eラーニング	がん治療生涯教育	在宅がん医療	ファカルティ・ ティベロップメント	歯科・歯科衛生士	がん専門栄養士	医学物理士	がん専門看護師	がん専門薬剤師・ 緩和薬物療法認定薬剤師	腫瘍外科医	緩和療法医	放射線治療医	がん薬物療法専門医	精神腫瘍医・臨床心理士
山口	川崎医科	高知	川崎医科	岡山	徳島	徳島	高知県立	徳島・岡山	山口	香川	岡山・広島	愛媛・岡山	広島・岡山

運営委員会

プログラム総合企画、構想立案
大学間連携の推進と調整
教育研修システム構築と評価

総合評価委員会

外部評価委員会
内部評価委員会

臨床治験推進委員会

臨床研究推進

広報委員会

ホームページ・季刊誌・活動報告

連携病院長会議

がん拠点病院との連携推進策

愛媛大学 岡山大学 香川大学 川崎医科大学 高知大学 高知県立大学 徳島大学 徳島文理大学 広島大学 松山大学 山口大学

がん診療連携拠点病院・地域医療在宅研修施設群

がん専門栄養士養成コースの概要

がん特有の病態や治療法を理解し、化学療法や放射線療法などがん治療に特有の栄養問題に対応でき、チーム医療の一翼を担うことのできる管理栄養士の養成を目指す。

設置コース

徳島大学大学院栄養生命科学教育部・臨床腫瘍栄養学コース

（博士前期課程、標準修業年限：2年）

（博士後期課程、標準修業年限：3年）

（全国のがんプログラムで唯一の管理栄養士コース）

ワーキンググループリーダー：竹谷 豊（徳島大学）

メンバー：阪上 浩（徳島大学）

濱田康弘（徳島大学）

取得目標資格：がん病態栄養専門管理栄養師

（日本病態栄養学会認定）

がん専門栄養士コースのコースワーク

がん専門栄養士養成コース

がん専門栄養士基礎コース

大学院博士前期課程(修業年限2年)
がん栄養・がん臨床栄養管理の基礎を修得することを目指す。

e-learningを用いた学習支援
大学病院・関連病院における臨床実習
オープンカレッジ

がん専門栄養士発展コース

大学院博士後期課程(修業年限3年)
高度ながん臨床栄養管理の知識と技能を修得することを目指す。

e-learningを用いた学習支援
オープンカレッジ
大学病院・国内関連病院における臨床実習
海外連携病院における臨床実習

国内外で活躍できるがん専門栄養士の養成

がん病態栄養専門管理栄養師(日本病態栄養学会)
がん拠点病院における栄養管理のリーダー
管理栄養士養成機関の教員

教育体制

徳島大学大学院
栄養生命科学教育部

臨床栄養学
代謝栄養学
疾患治療栄養学

徳島大学病院
栄養部(新設H23.10月)

連携病院
癌研有明病院
シドニー大学病院(オーストラリア)

徳島大学大学院医歯薬学研究部
(医学、歯学、薬学、保健学)

中四国がんプロコンソーシアム
地域連携病院

徳島大学臨床腫瘍栄養学コース・カリキュラム概要

中国四国がんプロ 共通コアカリキュラム

e-ラーニング

- 研究方法論
- 悪性腫瘍の管理と治療
- 医療情報学
- 医療対話学(コミュニケーションスキル)
- 医療倫理と法律・経済的問題

実習

- がんチーム医療実習

腫瘍栄養学 コース(博士前期)

講義・実習

- 臨床腫瘍栄養学
- 腫瘍栄養管理学演習
- 腫瘍栄養管理学実習

研究・学位論文作成

癌栄養に関する研究論文をまとめる

腫瘍栄養学 コース(博士後期)

e-ラーニング

- 腫瘍制御栄養学
- 腫瘍栄養学入門
- 緩和ケアと栄養
- がん治療と栄養
- がん栄養学演習

特別講義

- がん栄養セミナー

研究・学位論文作成

癌栄養に関する研究論文をまとめる

実習

専門施設での研修

履修要件(臨床腫瘍栄養学コース)

博士前期課程

専攻名	単位数		
	必修科目	選択科目	計
人間栄養科学専攻	6単位	28単位以上	34単位以上

博士後期課程

専攻名	単位数		
	必修科目	選択科目	計
人間栄養科学専攻	2単位	24単位以上	26単位以上

臨床腫瘍栄養学コース

博士前期課程

必修科目6単位は、指定科目の必修科目(3科目)を受講

選択科目26単位以上は、以下の選択科目より受講

- 1) 全専攻系共通カリキュラム科目
がんプロ共通コアカリキュラム6科目4単位 — 必修
 - 2) 各専攻系間共通カリキュラム科目
 - 3) 指定科目
臨床腫瘍栄養学(2単位)
腫瘍栄養管理学演習(2単位)
腫瘍栄養管理学実習(4単位)
 - 4) 専門科目
臨床腫瘍養栄養学演習(4単位)
臨床腫瘍栄養学特別実験(12単位)
- } 必修

臨床腫瘍栄養学コースについては、コース選択届けを提出してください。

臨床腫瘍栄養学コース

博士後期課程

必修科目2単位は、指定科目の必修科目(1科目)を受講

選択科目24単位以上は、以下の選択科目より受講

1) 全専攻系共通カリキュラム科目

がんプロ共通コアカリキュラム6科目4単位 — 必修

但し博士前期で履修済みの
方は再履修は不要

2) 各専攻系間共通カリキュラム科目

3) 指定科目

がんプロ指定科目6科目(12単位)

4) 専門科目

臨床腫瘍栄養学セミナー(2単位)

臨床腫瘍栄養学実験(6単位)

必修

臨床腫瘍栄養学コースについては、コース選択届けを提出してください。

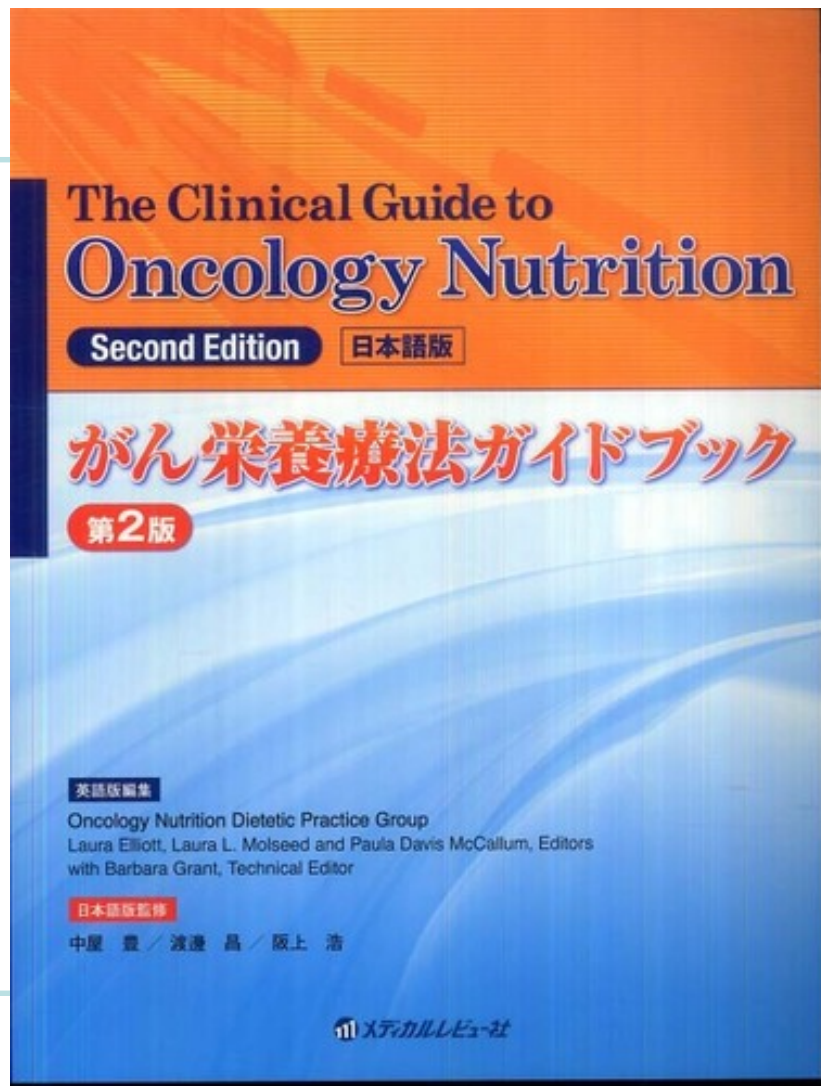
本カリキュラムで取得を目指す資格

日本病態栄養学会・がん病態栄養専門管理栄養士

1. 管理栄養士免許を有する者
2. 日本病態栄養学会および日本栄養士会会員であること。
3. 病態栄養認定管理栄養士または臨床栄養認定管理栄養士であること。
4. 医療機関で3年以上管理栄養士として従事し、1000時間以上がん栄養療法の実務経験を有すること。
5. 日本病態栄養学会が認定する実地修練施設で3年間の実地修練を受けること。
6. 日本病態栄養学会あるいは日本栄養士会が認定するがん領域の講習を30単位以上履修すること。
本学がんプロ養成課程(博士後期)修了者は免除。
7. 実際に栄養管理を行った5症例の症例報告。
8. 認定試験に合格

日本のがん栄養のリーダーを目指す！

全国で唯一のプログラムです。
がんに特化していますが、
多職種連携教育を受けられる
貴重なプログラムです。
博士前期課程は、一般コースや
臨床コースと比べても取得する
単位数にほとんど差はありません。



がん専門栄養士コースのコースワーク

管理栄養士 — 修士課程修了者あるいは臨床経験を有するもの(主に社会人大学院生)

- 医・歯・薬・栄養共通科目
- がんに関する専門教育

学生の計画段階からの参加

- 研究テーマ決定
- 研究の遂行
- 国際学会での発表

指導

経済的な支援

がん栄養に関する研究

学位論文： 国際的な学術誌への発表

ヘルスバイオサイエンス
研究部・医・歯・薬

栄養生命科学教育部
担当教員

客員教員

専門資格の取得
(がん栄養専門管理栄養師)